中部地方

名前

問1　静岡県などの中部地方の太平洋沿岸部に見られる気候について、冬の気温が平均5度前後と高く、夏に降水量が多いという特色を持つ気候を何といいますか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 瀬戸内の気候
2. 中央高地の気候
3. 日本海側の気候
4. 太平洋側の気候

問2　日本の主要な港の貿易統計において、年間輸出額が12兆円を超え、主な輸出品目として「自動車」や「内燃機関（エンジン）」が上位を占めている港の名前を答えなさい。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. 成田国際空港
2. 千葉港
3. 横浜港
4. 名古屋港

問3　中部地方の山岳地帯を源流とし、長野県、岐阜県、愛知県の3県をまたいで流れ、最終的に太平洋の一部である伊勢湾に注ぐ河川はどれですか。（2025年 京都府公立入試 類似）

1. 北上川
2. 木曽川
3. 黒部川
4. 十勝川

問4　日本の千円札の裏面には、富士山とその手前に広がる湖（本栖湖）の風景が描かれています。この風景を望むことができる場所の説明として、地理的に最も適切なものはどれですか。（2021年 京都府公立入試 類似）

1. 山梨県側から見た、富士五湖の一つである本栖湖の風景である。
2. 静岡県側から見た、駿河湾と富士山の風景である。
3. 長野県側から見た、諏訪湖と富士山の風景である。
4. 神奈川県側から見た、芦ノ湖と富士山の風景である。

問5　近年、日本の地方都市では、自動車への過度な依存を抑え、鉄道やバスなどの公共交通機関の拠点周辺に行政・福祉・商業などの機能を集約させる都市づくりが進められています。このような、徒歩や公共交通で日常生活に必要な機能を利用できる効率的な都市形態を何と呼びますか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. ニュータウン
2. スマートシティ
3. メガロポリス
4. コンパクトシティ

問6　中部地方の内陸部に位置し、周囲を高い山々に囲まれた松本市のような地域の気候について述べた文として、正しいものを選びなさい。（2019年 新潟県公立入試 類似）

1. 海から遠いため、夏季と冬季の気温差や日中の気温差が大きく、年間を通じて降水量が少ない中央高地の気候に属する
2. 暖流である黒潮の影響を強く受けるため、1月の平均気温が氷点下になることはなく、冬でも温暖で湿潤な気候である
3. 1月の気温が氷点下になるほど寒冷であるが、日本海からの湿った空気が直接流れ込むため、冬の降水量は沿岸部と同程度に多い
4. 周囲の山々が季節風を遮るため、冬は非常に乾燥して晴天が続くが、夏は梅雨や台風の影響で日本有数の多雨地帯となる

問7　福井県鯖江市のように、冬の降雪量が多い日本海側の地域で見られる、人々の生活や産業に関する説明として正しいものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 台風による被害が非常に多いため、家屋の周囲を高い石垣や防風林で囲む工夫が広く見られる。
2. 年間を通じて降水量が少なく乾燥するため、灌漑用のため池を数多く作ることで農業用水を確保している。
3. 夏は冷涼で農作物に冷害が出やすいため、雪を保存して夏場の冷房に利用する大規模な施設が普及した。
4. 冬の期間は雪で農作業が困難になるため、伝統的に室内で行える眼鏡フレームなどの製造が発展した。

問8　北陸新幹線を利用して福井駅から長野方面へ向かう際、列車が停車する主な駅の順序を西から東へ順に並べたものとして正しいものはどれですか。（2024年 福井県公立入試 類似）

1. 金沢、加賀温泉、あわら温泉、富山、長野
2. あわら温泉、加賀温泉、金沢、長野、富山
3. あわら温泉、加賀温泉、富山、金沢、長野
4. あわら温泉、加賀温泉、金沢、富山、長野

問9　日本の主な工業地帯・地域の中で、全国で最も多い製造品出荷額を誇る工業地帯があります。統計資料によると、この工業地帯の製造品出荷額の約67パーセントを機械工業が占め、特に中心となる愛知県では、出荷額の約55パーセントを自動車などの輸送用機械が占めています。この工業地帯の名称として正しいものを選択肢から選びなさい。（2016年 滋賀県公立入試 類似）

1. 京浜工業地帯
2. 阪神工業地帯
3. 中京工業地帯
4. 北九州工業地帯

問10　フォッサマグナの西側に位置する赤石山脈周辺の地域では、その自然環境を活かした産業が営まれています。この地域の地形や気候の特色と、そこで発達した産業の組み合わせとして、最も適切な説明を選びなさい。（2015年 佐賀県公立入試 類似）

1. なだらかな傾斜地が多く夏でも涼しいため、大消費地向けの乳牛の飼育が盛んである。
2. 冬の積雪が非常に多く平地が限られているため、寒冷な気候に強い米作りが盛んである。
3. 標高が高く険しい一方で降水量が多いことから、豊富な森林資源を利用した林業が盛んである。
4. 火山灰が積もった広大な台地が広がっているため、水はけの良さを活かした畑作が盛んである。

問11　富山県から静岡県に至る日本の断面において、標高3,000メートル級の飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈が連なる「日本アルプス」が位置する県と、その南側に位置し富士山の北側に隣接する県の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2019年 大阪府公立入試 類似）

1. 群馬県と山梨県
2. 岐阜県と長野県
3. 岐阜県と愛知県
4. 長野県と山梨県

問12　長野県は、レタスの収穫量が全国1位であることで知られています。この長野県におけるレタス栽培の特色と、その背景にある地理的条件の説明として最も適切なものはどれですか。（2025年 兵庫県公立入試 類似）

1. 大都市に近い立地を活かして、収穫した野菜の鮮度を保ったまま即日出荷する「近郊農業」が中心である。
2. 冬でも温暖な気候を活かして、他の地域よりも出荷時期を早める「促成栽培」が行われている。
3. 広大な平野と大型機械を利用して、小麦や大豆と組み合わせた大規模な「土地利用型農業」が行われている。
4. 標高が高い地域の冷涼な気候を活かして、平地の収穫が減る夏季に出荷する「抑制栽培」が行われている。

問13　名古屋港の輸出品目の特徴と、その背景にある地域の産業状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. 京浜工業地帯の化学工業が発達しているため、石油製品や医薬品の輸出額が最も多い。
2. 周辺にIC（集積回路）工場が多数進出しているため、電子部品が輸出の過半数を占めている。
3. 中京工業地帯の自動車産業が集積しているため、自動車や内燃機関の輸出額が突出して高い。
4. 航空宇宙産業の世界的拠点であるため、航空機類の輸出額が自動車を上回っている。

問14　木曽川、長良川、揖斐川の下流に広がる濃尾平野の低湿地帯では、古くから河川の氾濫による水害を防ぐための工夫が行われてきました。集落や耕地の周囲を堤防で囲んだ、この地域特有の仕組みや集落を何と呼びますか。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. カルデラ
2. 扇状地（せんじょうち）
3. 輪中（わじゅう）
4. シラス台地

答え合わせ・解説

問1	答え 4 太平洋側の気候	中部地方の太平洋側は、冬に北西からの季節風が山脈を越えてくる際、水分を失って乾燥した晴天の日が多くなるため、冬の気温が高い（氷点下になりにくい）のが特徴です。また、夏は太平洋からの湿った季節風や台風の影響で降水量が多くなります。これに対し、日本海側は冬に雪が多く、中央高地は標高の影響で一年を通して気温が低めで雨が少なくなります。
問2	答え 4 名古屋港	愛知県に位置するこの港は、背後に日本最大の工業出荷額を誇る中京工業地帯を控えています。特に豊田市周辺を中心とした自動車産業の集積が著しいため、完成車としての自動車や、その心臓部である内燃機関などの機械類が極めて高い割合で輸出されています。
問3	答え 2 木曽川	中部地方の険しい山間部から流れ出るこの河川は、下流部に広大な濃尾平野を形成し、古くから農業や生活用水として利用されてきました。選択肢にある北上川は東北地方、黒部川は富山県、十勝川は北海道を流れる河川であり、流路や注ぐ海が異なります。
問4	答え 1 山梨県側から見た、富士五湖の一つである本栖湖の風景である。	千円札のデザインに採用されているのは、富士山の北西麓にある「富士五湖」の一つ、本栖湖の湖畔から撮影された写真に基づいています。この本栖湖は山梨県に位置しており、山梨県側からの富士山の眺望を象徴する風景の一つとして知られています。
問5	答え 4 コンパクトシティ	人口減少や少子高齢化が進むなかで、郊外に分散した都市機能を維持することは行政コストの増大を招きます。そのため、主要な駅やバス停の徒歩圏内に施設を集約し、公共交通を軸に結びつけることで、持続可能な都市を目指す取り組みが多くの自治体で検討されています。
問6	答え 1 海から遠いため、夏季と冬季の気温差や日中の気温差が大きく、年間を通じて降水量が少ない中央高地の気候に属する	松本市のような内陸部の盆地は「中央高地の気候」に分類されます。海から離れているため、比熱の関係で土地が温まりやすく冷えやすい性質を持ち、気温の年較差や日較差が大きくなります。また、周囲を高い山々に囲まれているため、季節風に含まれる水蒸気が遮断され、年間を通じて降水量が少なくなるのが特徴です。実際に、松本市の統計では1月の気温が氷点下となる一方で、降水量は日本海側や太平洋側と比べて少なくなっています。
問7	答え 4 冬の期間は雪で農作業が困難になるため、伝統的に室内で行える眼鏡フレームなどの製造が発展した。	日本海側の地域では、冬の積雪によって屋外での農作業が制限される「農閑期」が長く続きます。この期間の収入を補うため、鯖江市の眼鏡フレームや、新潟県の織物のように、室内で集中して取り組める手工業や精密機械工業が古くから発展してきました。地域の伝統的な家屋においても、積雪の重みに耐える頑丈な構造や、雪下ろしを容易にする急傾斜の屋根などの工夫が見られます。
問8	答え 4 あわら温泉、加賀温泉、金沢、富山、長野	2024年3月に金沢・敦賀間が延伸開業した北陸新幹線のルートを確認すると、福井県から石川県、富山県、新潟県を経て長野県へと至ります。福井駅を出発して北東へ進むと、福井県北部のあわら温泉駅、石川県に入って加賀温泉駅、そして石川県の県庁所在地である金沢駅に到着します。その後、富山県の県庁所在地である富山駅を経由し、内陸に入って長野駅へと向かいます。富山と金沢の順序、および長野の位置関係を正確に把握しておくことが重要です。
問9	答え 3 中京工業地帯	日本の工業において、1940年時点では全国の製造品出荷額シェアの8.5パーセントでしたが、2000年には14.1パーセントへと成長し、現在では日本最大の出荷額を誇る規模となっています。愛知県の豊田市などを中心に自動車工業が極めて盛んであり、輸送用機械を主軸とした機械工業に特化している点が大きな特色です。
問10	答え 3 標高が高く険しい一方で降水量が多いことから、豊富な森林資源を利用した林業が盛んである。	赤石山脈は南アルプスとも呼ばれ、日本でも屈指の標高を誇る険しい山岳地帯です。この地域は雨が多い気候条件を備えており、スギやヒノキなどの樹木がよく育つため、古くからその斜面を利用した林業が行われてきました。他の選択肢にあるような広大な台地やなだらかな傾斜地は、この山脈の主な特徴とは一致しません。
問11	答え 4 長野県と山梨県	中部地方の中央部には「日本の屋根」と呼ばれる飛騨・木曽・赤石の3つの山脈（日本アルプス）が南北に走っています。これらが位置する長野県は海に面していない内陸県であり、その南東側に位置する山梨県も同様に内陸県で、富士山の北側に接しています。これらの地域は高い山々に囲まれていることが地形的な大きな特徴です。
問12	答え 4 標高が高い地域の冷涼な気候を活かして、平地の収穫が減る夏季に出荷する「抑制栽培」が行われている。	長野県の中央高地や群馬県の嬬恋村などの高冷地では、夏の涼しい気候を利用して、本来は秋から春にかけて収穫されるレタスやキャベツを夏から秋にかけて栽培します。これを「抑制栽培」と呼び、平地での生産が少なくなる時期に市場へ出荷することで、高い利益を得る工夫がなされています。冬の暖かさを利用する「促成栽培（宮崎県や高知県など）」とは対照的な仕組みです。
問13	答え 3 中京工業地帯の自動車産業が集積しているため、自動車や内燃機関の輸出額が突出して高い。	名古屋港の貿易額の大きさは、中京工業地帯における製造業の活発さを反映しています。この地域は自動車の製造工程において、部品の製造から組み立てまでを行う工場が密接に連携しており、港からは世界各地へ向けて自動車本体や内燃機関などの関連部品が大量に送り出されています。選択肢にある集積回路や石油製品は、他の地域の港や空港の特徴です。
問14	答え 3 輪中（わじゅう）	濃尾平野の下流域は海抜が低く、三つの大きな河川が合流・分岐を繰り返すため、古来より洪水が多発する地域でした。住民は自らの居住地や田畑を水害から守るため、集落の周りをぐるりと堤防で囲む「輪中」を形成しました。これは地形的制約を克服するための生活の知恵として知られています。